〔文化財伝承等の取組事例〕

「大隅北小学校の棒踊り伝承活動の取組」

１．学校名	曽於市立大隅北小学校
２．学年・人数	３年生から６年生　計 18 人
３．日時・場所	⑴　練習の日時・場所 令和６年５月１日(水)～５月17日(金) 総合的な学習の時間(本校体育館) 令和６年10月15日(火)・17日(木)，11月５日(火)子ども会練習(大隅北地区公民館) ⑵　発表の日時・場所 令和６年５月19日(日) 大隅北小学校・校区合同運動会　(本校校庭) 令和６年10月19日(日) 蹲踞神社奉納・大隅北地区秋祭り (蹲踞神社) 令和６年11月８日(金) 曽於市民祭（末吉栄楽公園グラウンド）
４．伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について	⑴　名　称 棒踊り（ぼうおどり） ⑵　由　来 五穀豊穣への祈りや感謝が込められた踊りで，開始時期や由来は定かではない。現在，受け継がれている踊りは，上坂元集落を中心に踊られていたものがもとになっている。 ⑶　構成等 楽器による伴奏はなく，追分調の歌にあわせて，棒をカチッカチッと打合せながら「ヨイヤサー」の威勢のよい囃子とともに踊る。踊りの動きや型は，示現流の棒術を彷彿させるもので，６人１組で３尺棒と６尺棒で勇ましく打ち合う。
５．文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	明確な保存会は存在せず，地域の有志で歌と踊りを受け継いでいる。関係者の地域おこしへの思いから棒踊りを秋祭りに披露してきたが，年々，踊り手が減少し，伝承していくことが難しくなっている。そこで，子ども会や中学校に協力を依頼して棒踊りをする機会を増やしてきた経緯がある。大隅北中学校が廃校になった2005(平成17)年以降は，小学校が主体となって取り組み，運動会で披露している。蹲踞（うずくまる）神社への奉納は，子ども会が中心になって活動し，小学生に加え中学生も参加している。 歌や踊りについて記載された資料はなく，聞き伝えで伝承されていることや過疎による人口減少から後継者の育成が課題となっている。
６．取組の様子（練習状況，発表の場等）	 小学校と校区の合同運動会（５月） 蹲踞神社での奉納（11月）
７．感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・踊りを披露するときは緊張したけど上手に踊れてよかった。みんなで練習するのは楽しい。 【教職員】 ・棒踊りの伝承活動を通じて、地域の魅力や人々との絆を深める素晴らしい機会となっている。この伝統を次世代に引き継ぐために，小学校としての役割を果たしながら，地域に誇りを持つ子供たちを育てていきたい。 【保護者及び地域の方】 ・子供たちが棒踊りをきっかけに故郷への愛着を深めたり、地域の人と交流を持ったりする姿を見るととても嬉しく思う。小学校や子ども会でこの活動に取り組んでいただけることに感謝している。